

1. 沿革

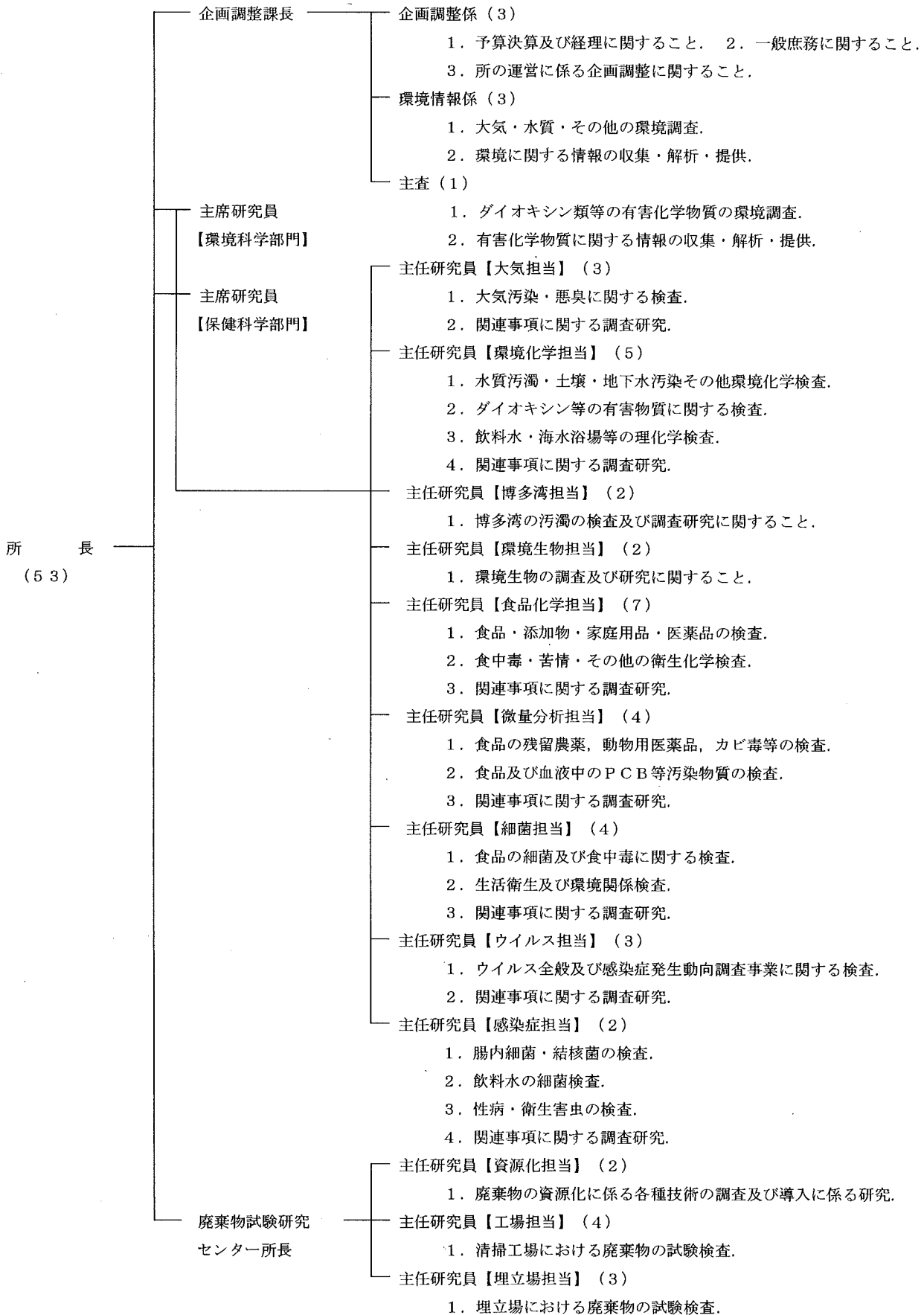
- 昭和45年10月 保健所検査室を統合し、1所(課)3係(職員数13名)で衛生試験所発足(中央保健所に併設)。
- 昭和48年4月 部長制がひかれ、1所(部)1次長(課)3係(職員数29名)となる。
- 昭和48年8月 本館4・5階を増築。
- 昭和50年4月 1所(部)2課3係(職員数36名)となる。
- 昭和58年4月 1所(部)2課4係(職員数36名)となる。
- 昭和61年4月 1所(部)2課4係1主査(職員数36名)となる。
- 平成元年4月 1所(部)2課4係2主査(職員数36名)となる。
- 平成2年3月 旧第一病院の仮庁舎に移転。
- 平成4年4月 1所(部)2課4係4主査(職員数39名)となる。
- 平成4年10月 3階部分改修増室。
- 平成5年4月 1所(部)2課4係4主査(職員数41名)となる。
- 平成7年4月 1所(部)2課4係5主査(職員数42名)となる。
- 平成8年4月 1所(部)2課5係6主査(職員数43名)となる。
- 平成9年3月 新庁舎に移転(中央区地行浜二丁目1番34号)となる。
- 平成9年4月 1所(部)3課5係6主査(職員数43名)となる。
- 平成9年5月 衛生試験所から保健環境研究所に名称変更。まもる一む福岡オープン。
- 平成11年4月 1所(部)3課5係5主査(職員数42名)となる。
- 平成12年4月 保健福祉局から環境局へ移管、1所(部)3課1係9主任研究員(職員数43名)となる。
(技術職の係長、主査制は廃止され、主任研究員制となる。)
- 平成12年10月 廃棄物試験研究センターが保健環境研究所の所属となる。
1所(部)3課1所(課)1係12主任研究員(職員数52名)となる。
- 平成13年4月 スタッフ制導入(課長制は廃止され、主席研究員制となる。)
1所(部)3主席研究員1所(課)1係12主任研究員(職員数49名)となる。
- 平成15年4月 本庁環境啓発課の環境情報係と主査(有害汚染物質専任)が保健環境研究所の所属となり企画調整課が設置される。
1所(部)1課2主席研究員1所(課)2係1主査12主任研究員(職員数53名)となる。

2. 施設

- | | | |
|----|--|--|
| 1階 | まもる一む福岡 | 敷地面積：5,799.26㎡ |
| 2階 | 会議室・技術研修室 | 延床面積：7,384.41㎡ |
| 3階 | 所長室・事務室・応接室
コンピュータ室・情報資料室
保健科学部門 細菌
(微生物) ウイルス
感染症 | 高さ：28.4m
構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造地上5階
・廃棄物試験研究センター 資源化 |
| 4階 | 保健科学部門 食品化学
(衛生化学) 微量分析 | 廃棄物
所在地：福岡市東区箱崎ふ頭4丁目35番地 |
| 5階 | 環境科学部門 大気
環境化学
博多湾、環境生物 | 臨海工場内3階
面積：620㎡ |

3. 機構・事務分掌及び人員

(平成15年5月1日現在)



4. 職 員

1) 職員名簿 (平成15年5月1日現在)

所 属 名	氏 名	担 当 業 務	
所 長	馬場崎 正博	保健環境研究所の総括	
企 画 調 整 課	課 長	宮原 正太郎	企画調整課の総括
	企画調整係	○ 吉岡 広志 中 山 貴子 船 越 陽子	企画調整係の総括、所の運営に係る企画調整業務 庶務・経理及び一般事務、所の運営に係る企画調整業務 庶務・経理及び一般事務
	環境情報係	○ 龍山 三四郎 野 中 栄 口 美悟	環境情報係の総括 水質常時監視、各種調査(土壌、酸性雨、フロン) 大気常時監視、騒音・振動監視
	主 査	○ 山下 雄二	ダイオキシン類等の有害化学物質の環境調査、企画調整業務
環 境 科 学 部 門	主席研究員	廣 中 博 見	環境科学部門の総括
	主任研究員 (大気担当)	○ 山崎 誠 中 島 亜矢子 重 岡 昌代	大気担当の総括 大気、悪臭、酸性雨 " " "
	主任研究員 (環境化学担当)	○ 中牟田 啓子 白井 曉子 木下 誠子 火原 祥 中 原 亜紀子	環境化学担当の総括、環境苦情相談受付 環境苦情相談分析、ダイオキシン類、環境中の農薬、 揮発性有機化合物、環境ホルモン、鉱物油成分の微量分析
	主任研究員 (博多湾担当)	○ 竹中 英之 上 野 祐子	博多湾水質担当の総括 博多湾、海水浴場、プール等行政収去検査
	主任研究員 (環境生物担当)	○ 坂口 寛 廣 田 敏郎	環境生物担当の総括 井水簡易項目、浄化槽、富栄養化学物質、生物
保 健 科 学 部 門	主席研究員	武 田 昭	保健科学部門の総括
	主任研究員 (食品化学担当)	○ 藤本 喬博 真 俊 佐 由紀子 井 進一 肥 昌一郎 藤 前 子 宮 田 子 智 悦子	食品化学担当の総括 食品成分規格、重金属 食品添加物 食品添加物 食品添加物、容器包装 食品成分規格、医薬品 食品添加物、家庭用品
	主任研究員 (微量分析担当)	○ 畑野 和広 赤 木 浩一 松 尾 友香 中 尾 朱美	微量分析担当の総括 食品の残留農薬、PCB " " 動物用医薬品 動物用医薬品、カビ毒
	主任研究員 (細菌担当)	○ 樋脇 弘 瓜 生 佳世子 衛 藤 真理 馬 場 愛	細菌担当の総括 食品・食中毒・自然環境中の細菌検査 " " "
	主任研究員 (ウイルス担当)	○ 真鍋 和義 若 月 紀代 山 崎 俊治	ウイルス担当の総括 ウイルス、感染症発生動向調査事業の検査 " "
	主任研究員 (感染症担当)	○ 尾崎 延芳 大 庭 三和子	感染症担当の総括 腸内病原菌、飲料水の細菌、結核菌・梅毒等の検査
廃 棄 物 試 験 研 究 セ ン タ ー	所 長	山 崎 哲 司	廃棄物試験研究センターの総括
	主任研究員 (資源化担当)	○ 加茂 和義 大 跡 恵美	資源化担当の総括 廃棄物の資源化に係る各種技術の調査及び導入に係る研究
	主任研究員 (工場担当)	○ 諫山 眞一 池 田 裕良 大 平 幸一 池 田 一敦	工場担当の総括 清掃工場における廃棄物の試験検査 " " "
	主任研究員 (埋立場担当)	○ 久保倉 宏一 藤 岡 栄子 堀 弘 樹	埋立場担当の総括 埋立場における廃棄物の試験検査 " "

注：○は係長、主査及び主任研究員（係長職）、他に嘱託職員（検査補助、洗浄業務）11名を配置。

2)職員配置表 (平成15年5月1日現在)

部 門	職 種	技 術 職				事 務 職	計
		獣 医 師	薬 剤 師	臨 査 床 技 検 師	そ の 他		
所 長					1		1
企 画 調 整 課			1		4	3	8
環 境 科 学 部 門		2	2		9		13
保健科学部門(衛生化学)		2	1	1	7		11
保健科学部門(微生物)		1		4	5		10
廃棄物試験研究センター			1		9		10
計		5	5	5	35	3	53

3)職員の異動

氏 名	新 所 属 (旧 所 属)	異動年月
(転出)		
馬場 純一	福岡市森と緑のまちづくりセンター市民の森・牧場管理課長 (環境局保健環境研究所主任研究員)	15.4
濱本 哲郎	福岡地区水道企業団施設部水質センター主査 (" 主任研究員)	"
西田 政司	下水道局管理部水質管理課主査 (" 主任研究員)	"
浜田 勝馬	水道局浄水部管理課 (" 企画調整課係員)	"
濱地 友和	水道局浄水部高宮浄水場 (" 企画調整課係員)	"
宮代 守	保健福祉局生活衛生部生活衛生課 (" 研究員)	"
藤代 敏行	保健福祉局生活衛生部食品衛生検査所 (" 研究員)	"
阿部 圭子	西区保健福祉センター衛生課 (" 研究員)	"
川畑 浩一	早良区保健福祉センター衛生課 (" 廃棄物試験研究センター研究員)	"
(転入・納入異動)		
宮原 正太郎	環境局保健環境研究所企画調整課長 (環境局保健環境研究所主任研究員)	"
龍 三四郎	" 企画調整課環境情報係長 (福岡市土地開発公社造成課主査)	"
山下 雄二	" 企画調整課主査 (環境局総務部環境啓発課主査)	"
竹中英之	" 主任研究員 (環境局廃棄物試験研究センター主任研究員)	"
坂口 寛	" 主任研究員 (教育委員会学校給食センター有田支所長)	"
畑野 和広	" 主任研究員 (環境局保健環境研究所研究員)	"
諫山 眞一	環境局廃棄物試験研究センター主任研究員 (西区保健福祉センター衛生課環境係長)	"
中山 貴	環境局保健環境研究所企画調整課係員 (都市整備局公園緑地部公園管理課)	"
船越 陽子	" (博多区保健福祉センター福祉・介護保険課)	"
山中 栄美	" (環境局総務部環境啓発課)	"
野口 悟	" (交通局施設部車両工場)	"
中島 亜矢子	環境局保健環境研究所研究員 (福岡地区水道企業団水質センター)	"
井崎 進一	" (保健福祉局生活衛生部食肉衛生検査所)	"
松尾 友香	" (水道局浄水部瑞梅寺浄水場)	"
馬場 愛	" (新規採用)	"
山崎 俊治	" (新規採用)	"
藤岡 栄子	" 廃棄物試験研究センター研究員 (水道局浄水部多々良浄水場)	"

5. 予 算

1) 歳入

(単位：千円)

科目	環境施設使用料	保健環境研究所手数料	健康保険料	介護保険料	雇用保険料	厚生年金保険料収入	私用電話通話料	その他の雑入	合計
金額	46	2,567	717	56	146	1,945	6	186	5,669

2) 歳出

(単位：千円)

科目	保健衛生総務費	感染症対策費	環境衛生費	食衛生品費	環境対策費	保健環境研究所経費	ごみ処理費	施設費	計
報酬						21,892			21,892
共済費		7				6,616	38		6,661
賃金		276				722	1,687		2,685
報償費						302			302
旅費	142	162		491		2,688	500	87	4,070
需用費	印刷消費		32,198	4,478	35,245	44,509	11,024	14,488	141,942
	被服費						0	127	127
	光熱水費						50,046		50,046
	食糧費						3		3
	修繕料						17,780	641	18,421
役務費						1,872			1,872
委託料		288				66,705	102,675	24,843	194,511
自動車借上料						55			55
借損料						59,756	4,766		64,522
備品購入費		382				6,121	1,317		7,820
負担金補助及び交付金				12		309	8		329
合計	142	33,313	4,478	35,748	44,509	245,891	126,247	24,930	515,258

*ごみ処理費及び施設費は廃棄物試験研究センター関連の経費である。

(数値は決算見込み額)

6. 備品 (平成14年度購入)

(500千円以上)

備品名	数量	機種(型式)	備品名	数量	機種(型式)
自動注入装置	1式	イオンクロマトグラフ オートサンプラーAS-50 (日本ダイオネクス)	冷凍庫(フリーザー)	2台	MDF-U537 (サンヨー)
遺伝子増幅システム	2台	iCycler サマシクラー (日本バイオラッド)	大型送風定温乾燥器	1台	DRLA23WA (東洋製作所)
滅菌装置 (乾熱滅菌器)	1台	ヒラサワGM-10E (ヒラサワ)			

7. 事業実績一覧

1) 平成14年度保健環境研究所検査等事業

担当部門名	項目名	検体数	項目数
環境科学部門	市民依頼の井戸水等検査	3,273	27,053
	博多湾, 河川, 地下水, 海水浴場, 土壌調査	1,174	15,830
	事業場排水, ゴルフ場調査	118	3,033
	プール, 浴場, 飲料水調査	520	2,780
	油分鑑定(消防局)	65	65
	悪臭検査	30	118
	酸性雨調査	148	1,740
	有害大気汚染物質調査	56	473
	その他の大気環境調査	519	10,795
	その他の依頼検査(環境庁委託調査を含む)	273	1,112
	計	6,176	62,999
衛生化学部門	食品等行政取去検査	1,506	16,970
	家庭用品試買検査	167	321
	行政(保健所)からの依頼検査	69	228
	行政(保健所以外)からの依頼検査	4	8
	市民からの依頼検査	67	86
	委託事業	15	15
	小計	1,828	17,628
	精度管理に係わる検査	1,023	1,858
	計	2,851	19,486
微生物部門	食品等行政取去検査	1,597	5,118
	食中毒・苦情検査	1,630	5,696
	環境衛生行政検収検査(プール・浴場水等)	786	1,084
	環境保全関係検査(博多湾, 河川, 事業場排水等)	613	627
	食品の依頼検査	122	127
	腸内病原菌検査(赤痢・チフス・0157等)	5,274	15,822
	感染症新法に基づく防疫検便	3,855	3,987
	結核菌検査	97	194
	梅毒血清反応	311	622
	飲料水細菌検査	3,232	6,464
	衛生害虫(ダニ)・室内塵検査	14	14
	原虫, 寄生虫検査	38	38
	インフルエンザ検査	40	80
	抗体検査(HIV, クラミジア, 風疹, 日本脳炎)	4,194	4,194
	ウイルス性食中毒検査等	168	308
	感染症発生動向調査等	301	1,505
		小計	22,272
	精度管理に係る検査	2,084	3,061
	計	24,356	48,941
廃棄物研究センター	清掃工場(資源化も含む)	2,143	20,777
	埋立場	419	5,839
	し尿処理施設	109	1,006
	その他	689	1,750
	計	3,360	29,372
	総計	36,743	160,798

2) 平成14年度保健環境研究所調査・研究等事業

	区分	件数(回数)	人数
調査・研究	誌上発表	学会誌等	4
		所報	31
		小計	35
	口頭発表	学会・協議会等	19
		所内	4
		小計	23
	計	58	
情報・啓発	夏休み体験学習	6	83
	サイエンススクール	24	905
	ホームページ発行	4	
	情報誌等発行	24	
	計	58	988
研修	研修生受入	7	66
	講師派遣	5	5
	派遣研修	9	9
	国際技術協力研修生受入	4	13
	国際技術協力講師派遣	2	6
	職員海外派遣	2	2
	計	29	101
	総計	145	1089